

『林業経済』編集委員会（50音順）

山本 伸幸（編集委員長）	興梠 克久（副委員長）	原 研二（副委員長）			
石崎 涼子	市川 隆史	小川三四郎	柴崎 茂光	関岡 東生	関 良基
竹本 太郎	立花 敏	寺内 大左	早瀬 悟史	三木 敦朗	山本 美穂
事務局					
土屋 俊幸（所長）	大西 純（事務員）				

《編集後記》

本号の論文、書評を読ませていただき、改めて思ったのは、森林、林業を把握することの難しさである。林・藤掛氏の特集論文では、基幹となる政府統計・農林業センサスが調査対象の変更等により林業経営体の動向把握に様々な課題を抱えていることを前提とした議論がされているし、中村氏の書評では森林、林業関係の法務の多様さ、複雑さ、そして「制度と現実とのギャップ」が繰り返し指摘されている。鯨島氏の書評が扱う国内盗伐問題も、これまで長く不可視の状態だった。

森林は、日本の陸域面積の3分の2と広大であり、しかもその立地は、この国の気候、地形の多様さに規定されて、まさに多様そのものであり、そこに展開する狭義／広義の林業もまた多様な形態をとることになる。であるから森林、林業の「全体像」の把握が非常に難しいことをわれわれは常に前提としてきたところがある。それはそうなのだが、陸域と並行して語られることの多い海域の多様さ、複雑さについては、知っているようで、実はあまり認識してこなかったのではないだろうか。

少なくとも個人的に、その思いを強くしたのは、最近、一般向けの2つの雑誌を読んだからである。1冊は、日本自然保護協会の会報『自然保護』2025年7・8月号の特集「知ってる？海のこと

ここから始める海の基本』。もう1冊は、自然科学／人文社会科学の両分野にまたがり身近な「ふしぎ」を科学する小学生向け月刊絵本誌『たくさんふしぎ』2025年8月号『超深海への旅』。以下、そのほんの一部の書き写し。

森林を含む陸域との関連が深い、陸から見渡せる範囲の沿岸域は海全体の1%未満しかない。陸域の身近な自然と違い、実際に潜って見に行ける場所はとても限られるため、海の中は目に見えず触れることもできない広大な不可視の領域であり、わかっていないことが圧倒的に多い。北の海、例えば知床の海と南の海、例えば沖縄の海は豊かな海の成り立ちが大きく異なる。前者では海底に溜まった栄養が循環することで、生きものの数が多い=生産性が高いのに対して、後者では循環が起きにくく、栄養分が少なく生きものも少ない大部分の海とサンゴ礁のおかげで生きものの種類が多い=生物多様性が高い海とに分かれる。そして、海溝等の海深6,000mを超える超深海は基本的に沙漠のような生物の少ない世界だが、その海溝底にもマイクロプラスチックや汚染物質の堆積があり、人間活動の影響が及んでいる。

夏休み。母なる海にも思いを馳せてみてはいかが。

（土屋）

研究所業務日誌（2025年6月）

6月 2日	定時評議員会
	第2回理事会
6月 13日	第2回編集委員会

6月 20日	『林業経済』6月号校了
6月 25日	森林所有者による「森林サービス事業」推進事業第2回調査委員会

林業経済（月刊）

〈禁無断転載〉

定価 880円
(本体価格 800円)

編集発行人 永田 信

発行所 一般財団法人 林業経済研究所

〒113-0034 東京都文京区湯島1-12-6 高闘ビル3A

電話 03-6379-5015 FAX 03-6379-3210

E-mail : office@foeri.org URL : <http://www.foeri.org/>

☆本誌は予約購読を原則とします。購読ご希望の方は直接、当研究所までお申し込みください。

1年 10,560円（送料込）（本体 9,600円、消費税 960円）

学生および院生は1年5,500円（本体 5,000円、消費税 500円）になります。

購読料の振込先

口座名義人：一般財団法人 林業経済研究所

銀行の場合：三菱UFJ銀行 秋葉原支店

普通預金口座 4560904

郵便局の場合：振替口座 00110-1-147629

印刷 株式会社ソウブン・ドットコム 東京都荒川区西尾久7-12-16